



一部の機能が強化されました！

ConMas Designer

帳票定義の作成 操作説明書

2015.06.18 V5.0強化版

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2012-10-26	--	--	初版を発行しました。
2013-03-21	V2.3	--	[この定義の履歴から最新版を作成する]ボタンを追加。
		--	帳票完了時、編集時のファイル出力設定を追加。
2013-04-23	V3.0	--	「タブレットでの帳票保存」設定を追加。
		--	クラスターの固定モードを追加。
2013-08-19	V3.1	--	FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定を追加
		--	FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送付設定を追加
		--	帳票定義の一時保存機能を追加。
		--	帳票定義のローカル保存機能を追加。
2013-11-29	V3.1機能強化版	--	タブレットからの帳票画像・PDFファイルメール送信機能のON・OFF設定追加
		--	タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く機能のON・OFF設定追加
		--	FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定の変更
		--	帳票同時編集設定の追加
		--	帳票のEXCELファイル出力機能の使用設定の追加
2014-01-31	V3.2	--	・タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信OK,NGの設定を追加。
		--	・カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存OK,NGの設定を追加。
		--	編集モードに以下を追加。 <ul style="list-style-type: none"> ・帳票コピー時移動設定 帳票をコピーする時のクラスター間の値の移動を設定します。 ・QR分解設定 QRコードを他のクラスターに分解して入力する設定を行います。

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2014-03-06	V3.2	--	サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する設定を追加。
		--	タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示する設定を追加。
2014-04-18	V4.0	--	帳票コピー機能を使用する設定を追加。
2014-05-20	V4.1	--	iPhoneでの入力設定を追加。
		--	クラスタ名称変換設定を追加。
2014-06-30	V4.2	--	クラスタ履歴の設定を追加。
		--	申請ロック機能の設定を追加。
2014-09-19	V4.2 強化版	--	自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする設定を追加。
		--	携帯用テーブルの作成（Motion Board、Dr.Sum連携）にクラスタ単位の設定を追加。
		P--	シート情報画面からEXCELファイルのシート名称変更に関する説明を追加。
2015-06-16	V5.0 強化版	P32	一度編集保存されたクラスタを再編集不可にする設定に関して追記。
2015-06-16	V5.0 強化版	P23-24	帳票備考/システムキーへのクラスタ値コピーの設定方法に関して追記。

目次

• 帳票定義を作成する	5	• Designer編集画面への切替	34
• 帳票定義情報の設定		• Designer編集画面のメインメニュー	35
• 定義の元のデータの取り込み	6	• 帳票定義の一時保存	36
• サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する	7	• 帳票定義xmlファイルのローカル保存	37
• 帳票定義名称、帳票名称の設定	8	• 帳票定義xmlファイルの取込	38
• iPhoneでの入力	9	• 帳票編集エリア、クラスター一覧表示エリア	39
• タブレットでの帳票名称の編集可否	10	• シート一覧 プレビュー表示	40
• タブレットでの帳票定義保存・帳票保存	11	• 編集モードの設定	41
• タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信	12	• シート情報の設定	43
• タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く	13	• シート情報画面からEXCELファイルのシート名称変更	43
• タブレットでの帳票保持期間	14	• 帳票定義をコピーする	45
• 申請ロック機能の設定	15		
• 自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする	16		
• タブレット操作時に、ネットワーク接続された 後続クラスターのインプット部品を自動表示	17		
• クラスター履歴の設定	18		
• FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送信設定	19		
• FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定	20		
• カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存	21		
• 帳票備考情報の設定、タブレットで備考情報の編集可否	22		
• 帳票備考/システムキーへのクラスター値コピー	23		
• 帳票完了時・編集時のファイルの自動出力	25		
• 帳票のEXCELファイル出力機能の使用	26		
• 連携用テーブルの作成 (Motion Board、Dr.Sum連携)	27		
• 帳票コピー機能を使用する	29		
• 作成した帳票の同時編集	30		
• 一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする	32		
• 外部システム連携	33		

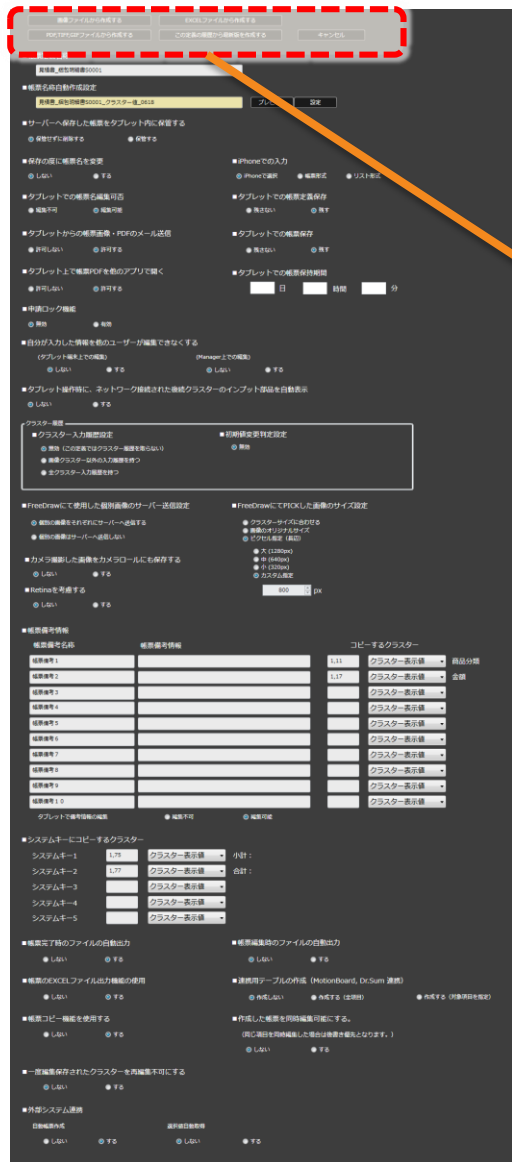
帳票定義を作成する

- メニューから、[帳票定義を作成する]をクリックします。
- 左に帳票定義リスト、右側に帳票定義情報設定が表示されます。ここから帳票定義としての各動作を設定します。

帳票定義情報設定

帳票定義リスト
更新日時の新しい
順に表示されます。

定義の元のデータの取り込み



定義の元のデータの取り込み

画像ファイルから作成する

EXCELファイルから作成する

PDF,TIFF,GIFファイルから作成する

この定義の履歴から最新版を作成する

キャンセル

- 画像ファイルから作成する
JPEG/PNG/GIF/TIFF/BMPなどの画像ファイルを取り込みます。
- PDF,TIFF,GIFファイルから作成する
複数のページを持ったPDFやマルチページTIFFを取り込みます。
- EXCELファイルから作成する
クラスター情報を追加したEXCELファイルを取り込みます。
- この定義の履歴から最新版を作成する
現在編集中の帳票定義の履歴一覧を表示します。この履歴一覧から作成した帳票定義はその帳票定義の最新版となります。

サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

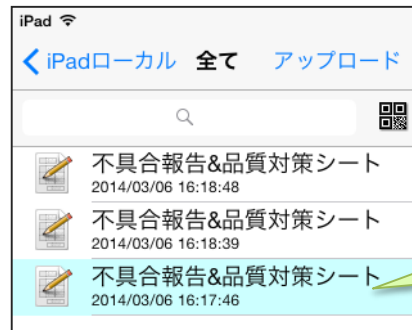
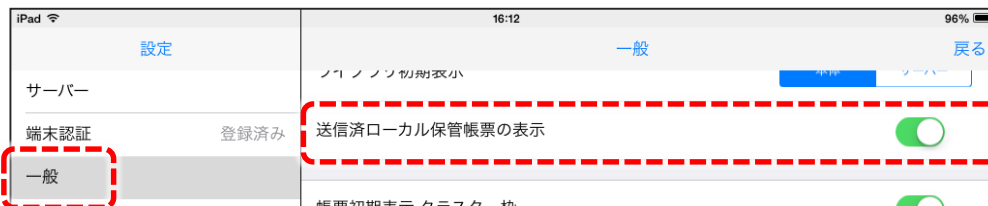
■サーバーへ保存した帳票をタブレット内に保管する

保管せずに削除する 保管する

iPadアプリ上で、サーバーに保存した帳票を自動削除せずに保管しておくモードです。保管しておくモードの場合は、定期的にiPadアプリ内から保管しておいた帳票を手動で削除して頂く必要があります。

iPad上での設定方法

- ConMasの設定画面から「一般」→「送信済ローカル保管帳票の表示」をonにして頂くことで、ローカルに保管された帳票を表示することができます。



ローカルに保管された帳票は上記の設定を行って頂くことでハイライトが付いた状態でローカル帳票一覧に表示されます。

帳票定義名称、帳票名称の設定



帳票定義名称、帳票名称の設定

■ 帳票定義名称

[#3920]ネットワーク設定の后续クラスタージャンプ制御その3

■ 帳票名称自動作成設定

[#3920]ネットワーク設定の后续クラスタージャンプ制御その3

プレビュー

設定

保存の度に帳票名を変更

■ 保存の度に帳票名を変更

しない

する

帳票定義の名称および、定義から作成される帳票の名称を設定します。帳票名称は条件を設定して自動でリネームさせることもできます。

iPhoneでの入力

iPhoneでの入力

iPhoneでの入力
 帳票形式
 リスト形式

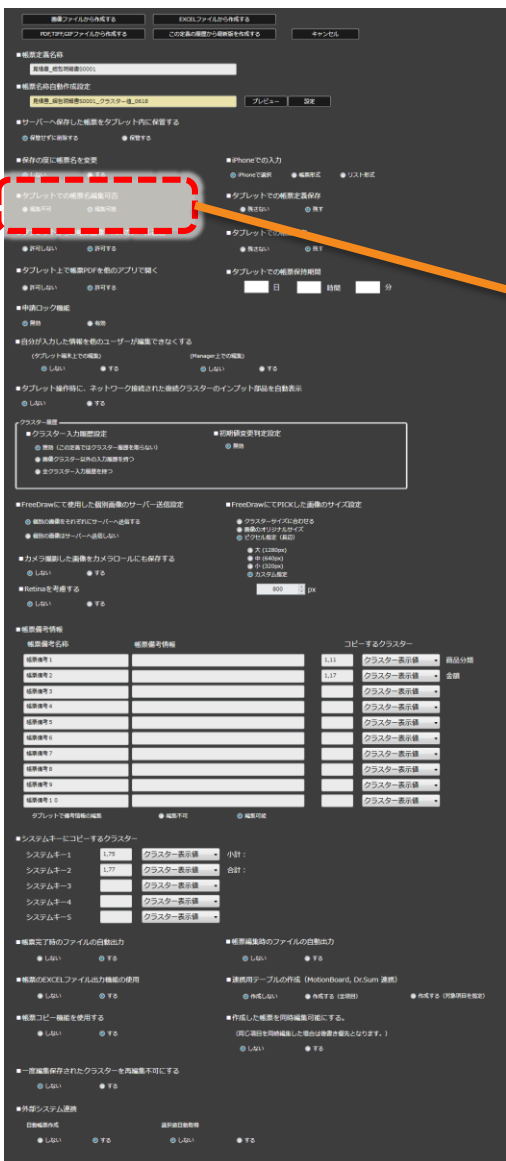
iPhoneで帳票編集を行う際の編集形式の指定を行います。

■ 帳票形式
iPadと同様に帳票のレイアウト上で編集を行います。

■ リスト形式
クラスターの一覧をリスト化し編集を行います。

■ iPhoneで選択
iPhone上で「帳票形式」、「リスト形式」を選択します。

タブレットでの帳票名称の編集可否



タブレットでの帳票名称の編集可否

■タブレットでの帳票名編集可否

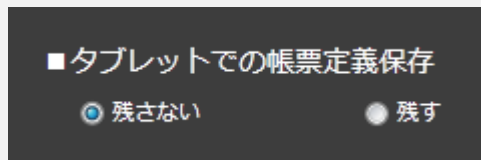
編集不可 編集可能

iPadアプリ上で、帳票名称の編集を許可するかどうかの設定です。
[編集不可]の場合、名称の参照はできますが編集はできません。

タブレットでの帳票定義保存・帳票保存

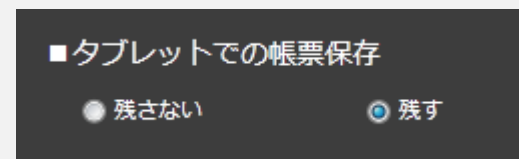


タブレットでの帳票定義保存



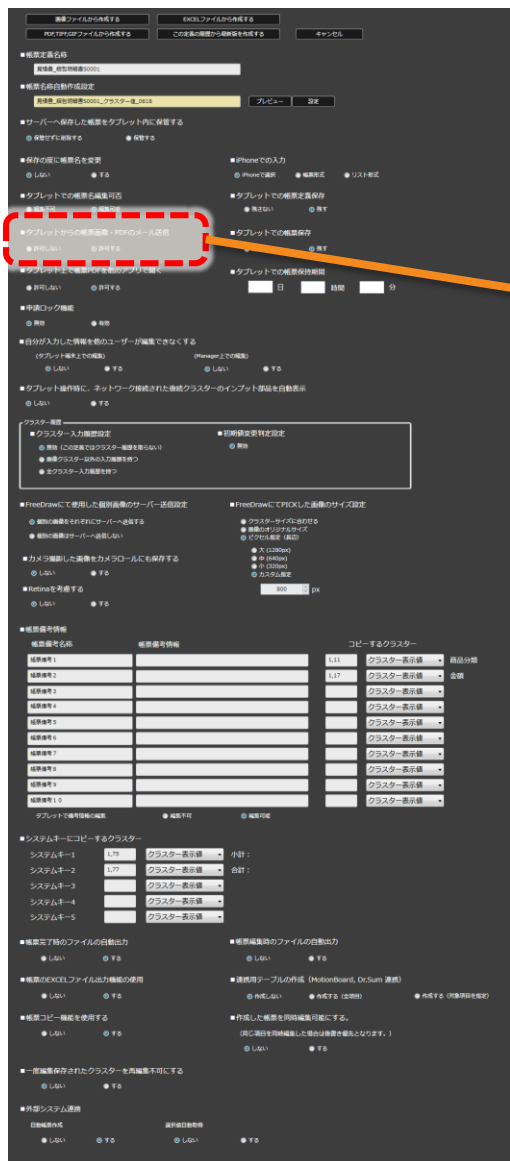
iPadへの「帳票定義」の保存を許可するかどうかの設定です。
オフラインで新規帳票の作成をする場合は[残す]で許可します。

タブレットでの帳票保存



iPad本体のローカルストレージへの帳票の一時保存を許可するかどうかの設定です。
iPad本体のローカルストレージへ帳票を一時保存する場合は[残す]で許可します。
iPad本体のローカルストレージへ帳票を一切保存させたくない場合には[残さない]を選択します。

タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信



タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信

■タブレットからの帳票画像・PDFのメール送信

許可しない 許可する

許可しないに設定した場合、タブレットの保存メニューにある「画像をメール送信」「PDFをメール送信」が使用不可になります。デフォルトは「許可する」です。

タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く



タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く

■ タブレット上で帳票PDFを他のアプリで開く

許可しない 許可する

許可しないに設定した場合、タブレットの保存メニューにある「PDFで開く」が使用不可になります。デフォルトは「許可しない」です。

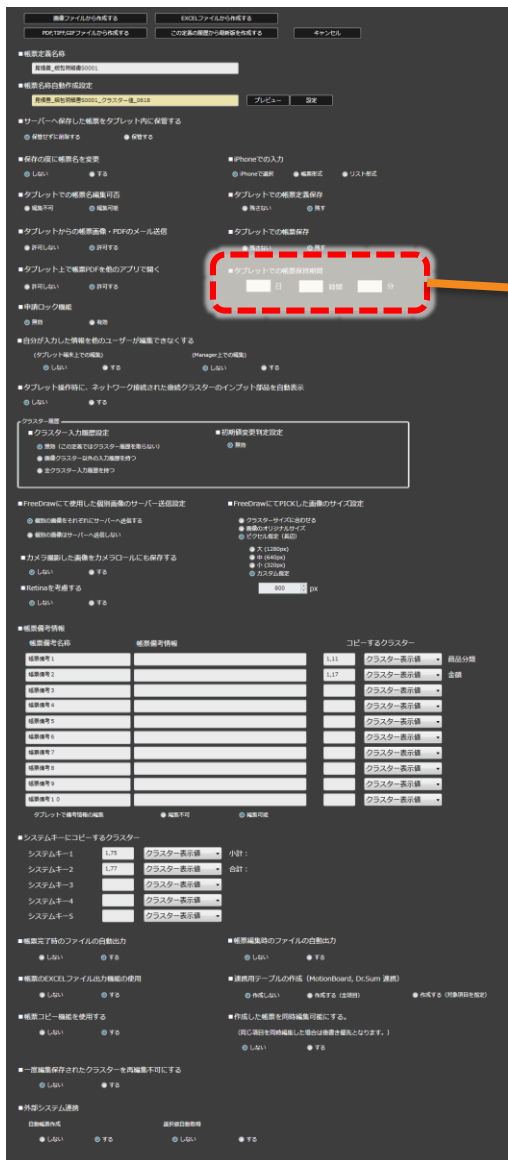
タブレットでの帳票保持期間

タブレットでの帳票保持期間

■タブレットでの帳票保持期間

日 時間 分

iPad上に編集集中の「帳票」を保存しておける期間を指定します。この期間は、iPad上にデータが置かれてからの期間となります。サーバーへ保存すればiPadからはデータが消えるので経過時間はリセットされ、あらたに取得するとまた0からスタートします。この期間を超えてiPad上に保持していた場合、警告なく削除されます。※サーバーにある該当帳票のデータは削除されません。



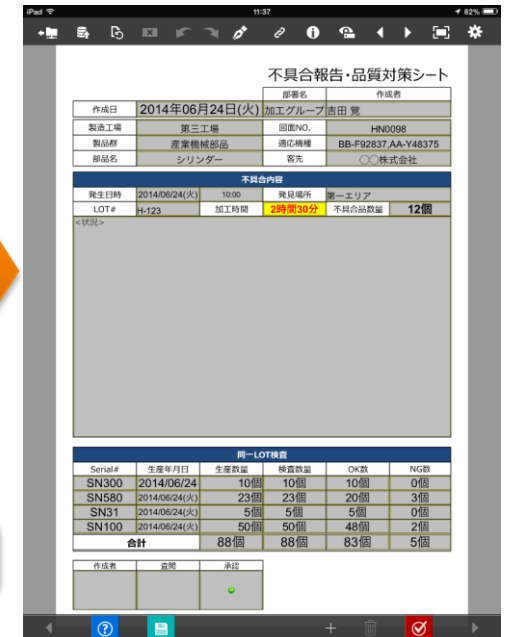
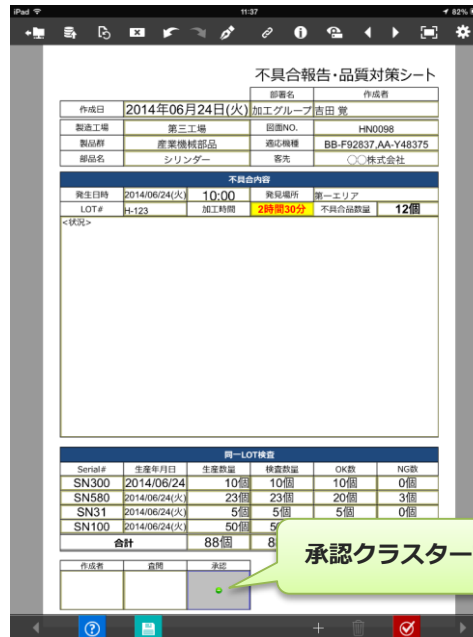
申請ロック機能の設定

申請ロック機能

■申請ロック機能

無効 有効

承認クラスターに関して、申請者が申請を行ったあとで帳票の再編集が出来ない様にするために全クラスターに編集ロックをかける機能です。
帳票をサーバー保存を実行したタイミングで編集ロックがかかります。



自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする

NEW
V4.2



自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする

■自分が入力した情報を他のユーザーが編集できなくする

(タブレット端末での編集)

(Manager上での編集)

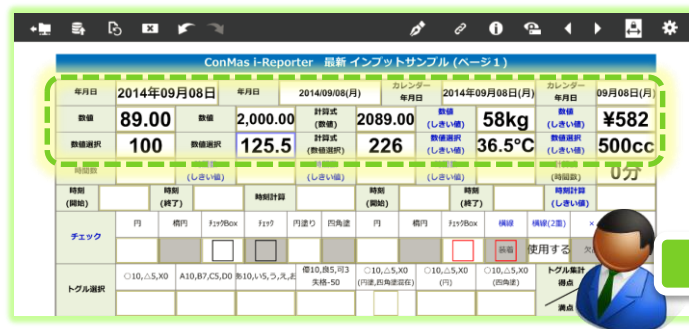
しない

する

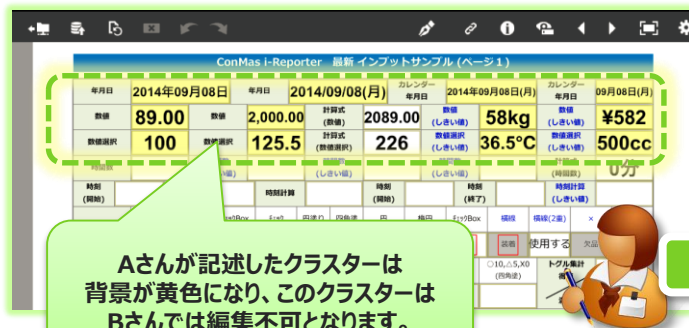
しない

する

自分が入力したクラスターの情報を誤って別のユーザーが編集し上書きすることを、防止するための機能です。「タブレット端末での編集」と「Manager上での編集」に関してそれぞれ設定する事ができます。



Aさん



Bさん

①ユーザー“Aさん”でログインして、クラスターを修正し帳票をサーバーへ保存

ConMas Server



②ユーザー“Bさん”でログインして、帳票をダウンロード

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示

■タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示

しない する

ネットワーク接続されたクラスタに関して、タブレット操作時に、先行クラスタの入力を終えた後、自動で後続クラスタに移動し、後続クラスタを入力開始状態にするかどうかの設定です。ネットワーク単位にも同様の設定を持ちます。

「する」…ネットワーク単位での設定が有効になります。
「しない」…ネットワーク単位での設定に関係なく、帳票で使用されるネットワークすべてにおいて「しない」設定となります。

ネットワーク単位での設定方法

ネットワーク一覧から右クリックメニューの「ネットワーク制限設定」をクリック。

先行クラスタ未入力時の後続クラスタの入力制御

制限なし 警告を表示して入力許可 入力不可

しない する

「タブレット操作時に、ネットワーク設定された後続クラスタのインプット部品を自動表示」にて設定を行います。

ネットワーク一覧

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスタ	後続シートNo.	後続index
⇄	2	46	単一選択	2	47
⇄	2	47	バリキュレーション	8	8
⇄	2	48	ネットワーク必須連携	9	9
⇄	2	49	ネットワーク制限設定	8	8
⇄	2	8	ネットワーク制限	3	3
⇄	2	14	ネットワーク制限	3	3
⇄	2	20	ネットワーク制限	20	20

クラスター履歴の設定



クラスター履歴



■ クラスター入力履歴設定

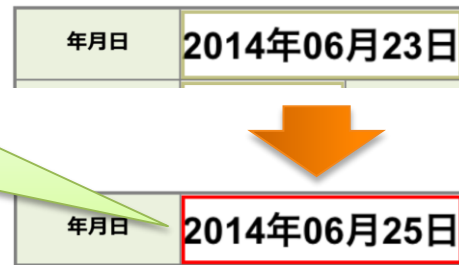
この帳票定義内の各クラスターの履歴を持つかどうか、「無効」「画像クラスター以外の入力履歴を持つ」「全クラスター入力履歴を持つ」から選択します。

■ 初期値変更判定設定

一度入力したクラスターの入力値が変更された場合に、クラスター枠に色付けるかどうか設定します。またこの時のクラスター枠の色を設定します。



初期値変更判定設定を「有効」に設定し、クラスター枠の判定色を「Red」にした場合、入力値を変更するとクラスター枠が赤色で表示されます。



FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送信設定

FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送信設定

FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送信設定

個別の画像をそれぞれにサーバーへ送信する

個別の画像はサーバーへ送信しない

FreeDraw内で使用した個別の画像をそれぞれ全てサーバーへ送付するか個別の画像はサーバーへ送付しないようにするかを選択します。デフォルトは「個別の画像をそれぞれにサーバーへ送付する」です。

FreeDrawにて使用した個別画像のサーバー送信設定

- 個別の画像をそれぞれにサーバーへ送付する
- 個別の画像はサーバーへ送信しない

編集番号	編集番号	コピーするクラスター	商品分類
編集番号1		1,31 クラスター-表示簿	全額
編集番号2		1,37 クラスター-表示簿	
編集番号3		クラスター-表示簿	
編集番号4		クラスター-表示簿	
編集番号5		クラスター-表示簿	
編集番号6		クラスター-表示簿	
編集番号7		クラスター-表示簿	
編集番号8		クラスター-表示簿	
編集番号9		クラスター-表示簿	
編集番号10		クラスター-表示簿	

システムキー	1,79	クラスター-表示簿	小計:
システムキー2	1,77	クラスター-表示簿	合計:
システムキー3		クラスター-表示簿	
システムキー4		クラスター-表示簿	
システムキー5		クラスター-表示簿	

FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定



FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定

FreeDrawにてPICKした画像のサイズ設定

- クラスターサイズに合わせる
 - 画像のオリジナルサイズ
 - ピクセル指定 (長辺)
-
- 大 (1280px)
 - 中 (640px)
 - 小 (320px)
 - カスタム指定

800 px

FreeDrawの画像PICK時に画像サイズを、「クラスターサイズに合わせる」か、「画像のオリジナルサイズ」を保持するか、または「ピクセル指定」で直接画像サイズを指定するか、選択します。デフォルトは「クラスターサイズに合わせる」です。この設定は各フリードロックラスターにて個別に設定する事も可能です。

カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存

カメラで撮影した画像のカメラロールへの保存

■カメラ撮影した画像をカメラロールにも保存する

しない する

iPadのカメラで撮影した画像を帳票に保持するだけでなく、iPad本体のカメラロールにも保存するか、しないかの設定を行います。

[する] に設定した場合には、撮影した写真が自動的にカメラロールに保存されます。

※Managerの設定が、[定義で指定] の場合に有効となります。

Manager側の設定はシステム管理メニューより行います。

- システム管理→共通マスター管理→共通キー「IPAD_SETTING」、共通項目名「SAVE_LOCAL_CAMERA_IMAGE」にて設定します。
- 共通項目値を「1」にすると全帳票定義、入力帳票にてカメラロール保存が有効になります。「0」にすると(Designerで設定された)帳票定義毎の設定に従います。

共通マスター参照

共通キー	IPAD_SETTING
共通項目インデックス	0
共通項目名称	SAVE_LOCAL_CAMERA_IMAGE
共通項目値	1
ローケル	

全帳票定義、入力帳票において一律に有効

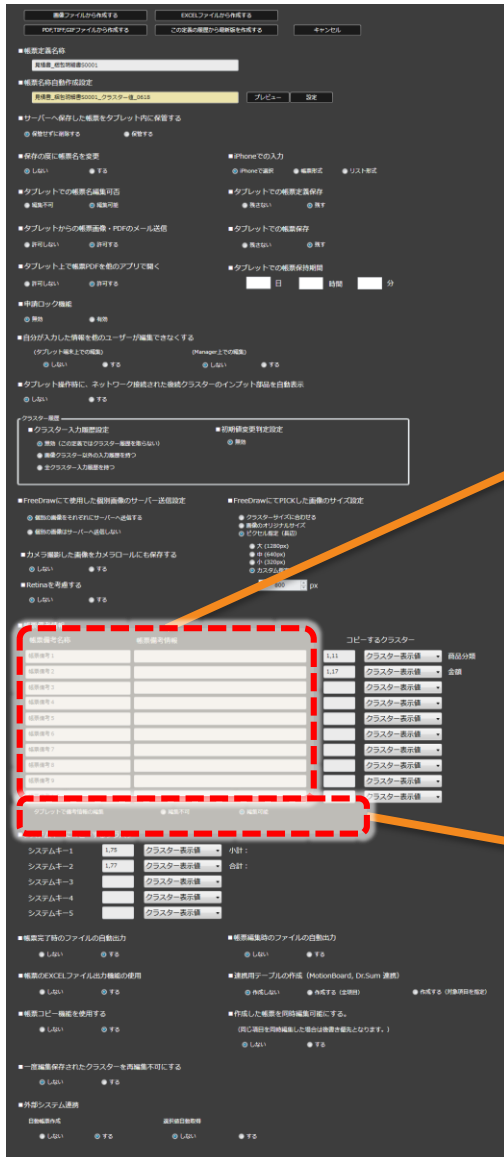
共通マスター参照

共通キー	IPAD_SETTING
共通項目インデックス	0
共通項目名称	SAVE_LOCAL_CAMERA_IMAGE
共通項目値	0
ローケル	

Designerの設定が有効



帳票備考情報の設定、タブレットで備考情報の編集可否



帳票備考情報

■ 帳票備考情報

帳票備考名称

帳票備考情報

帳票備考 1

帳票備考 2

帳票の備考を編集できます。左列がタイトル、右列が内容となります。この備考は「帳票全体」の備考で、各シート別の備考はシート編集画面の「シート情報設定」から編集できます。

タブレットで備考情報の編集

タブレットで備考情報の編集

編集不可

編集可能

iPadアプリで備考情報の編集を許可するかどうかの設定です。

帳票備考/システムキーへのクラスター値コピー

V5.0 V5.0強化版での新機能

帳票備考/システムキーへのクラスター値のコピー

帳票備考名称	帳票備考情報	コピーするクラスター	
帳票備考 1		1,11	クラスター表示値 ▼ 商品分類
帳票備考 2		1,17	クラスター表示値 ▼ 金額

■システムキーにコピーするクラスター			
システムキー-1	1,75	クラスター表示値 ▼	小計:
システムキー-2	1,77	クラスター表示値 ▼	合計:

指定したクラスターの名称が表示されます。

帳票備考1~10、システムキー1~5に対して、帳票のサーバー保存時に、それぞれ指定したクラスターの値が自動でコピーされます。コピーするクラスター値は「クラスター表示値」または「クラスター値」から選択します。クラスター指定は「シートNo.」と「クラスターインデックス」をカンマ区切りで入力することで設定します。数値はすべて半角で指定し、スペースは使用しないで下さい。

例) 2シート目のクラスターインデックス15を指定する場合

2,15

指定できないクラスター種別は「手書きノート形式」「手書きフリーメモ」「フリードロウ」「画像」「チェック」「作成」「査閲」「承認」「アクション」です。



帳票備考/システムキーへのクラスター値コピーの設定方法

帳票備考/システムキーへのクラスター値コピーは、クラスターのシートNo.とクラスターインデックスを直接記述する方法以外に、クラスターを選択後に右クリックメニューから指定する方法があります。

①クラスターを選択します。

②右クリックメニューから「備考/システムキーとの連携」を選択します。

③選択したクラスターの入力値と連携を行いたい帳票備考またはシステムキーをクリックします。

帳票備考情報

帳票備考名称	帳票備考情報	コピーするクラスター
帳票備考 1		1,11 クラスター表示値 商品分類
帳票備考 2		クラスター表示値



コピーするクラスター

1,11 クラスター表示値 商品分類

④選択したクラスターのシートNo.とクラスターインデックス情報が、右クリックメニューで指定した帳票備考またはシステムキーの箇所へ自動設定されます。

V5.0 V5.0強化版での新機能

帳票完了時・編集時のファイルの自動出力



帳票完了時のファイルの自動出力 帳票編集時のファイルの自動出力

■ 帳票完了時のファイルの自動出力

しない

する

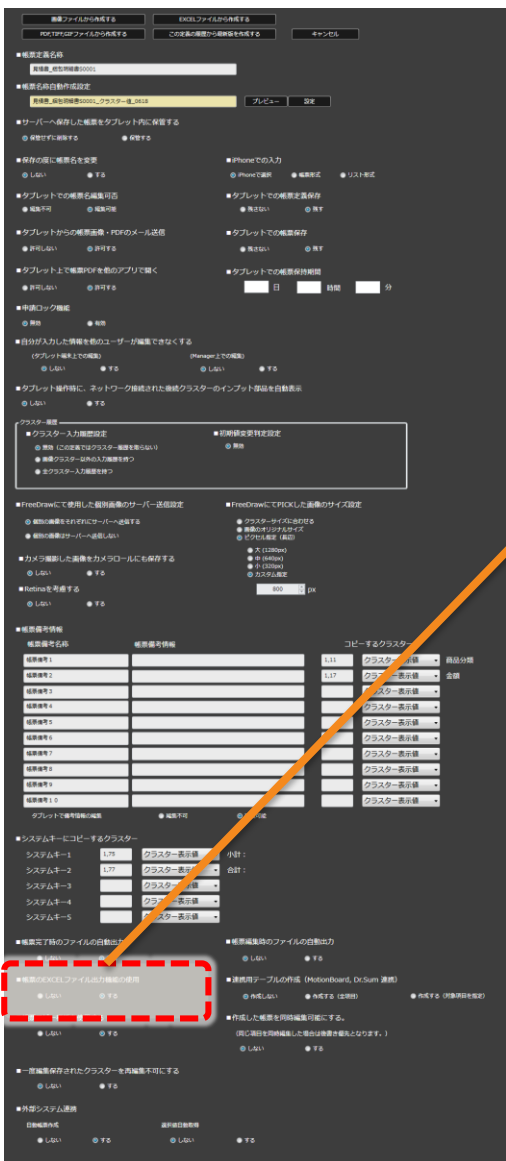
■ 帳票編集時のファイルの自動出力

しない

する

帳票の完了保存、または、帳票の編集中保存を行った際に、
各種ファイル（CSV、XML、PDF）の自動出力を行うかどうかの設定です。

帳票のEXCELファイル出力機能の使用



帳票のEXCELファイル出力機能の使用

帳票のEXCELファイル出力機能を使用するかどうかの設定です。

「する」に設定した場合、帳票定義保存時にシートコピー機能の使用が可能かどうかチェックを行い、結果、シートコピーが不可となる帳票定義であれば自動でシートコピーに問題のあるシートを「シートコピー不可」設定に変更します。



連携用テーブルの作成 (Motion Board、Dr.Sum連携)



連携用テーブルの作成

■ 連携用テーブルの作成 (MotionBoard, Dr.Sum 連携)

- 作成しない
- 作成する (全項目)
- 作成する (対象項目を指定)

MotionBoard、Dr.Sumなど外部のデータ集計管理システムと、ConMas i-Reporterとの連携を行うためのテーブルデータを作成するかどうかの設定です。

作成しない：連携用テーブルを作成しません。

作成する (全項目)：連携用テーブルを全項目作成します。

V4.2: 作成する (対象項目を指定)：対象にしたクラスターに関してのみ作成します。



クラスター単位の連携用テーブル作成対象設定

NEW
V4.2

クラスター単位の連携用テーブル作成対象の設定は以下の方法で行います。

■ 連携用テーブルの作成 (MotionBoard, Dr.Sum 連携)

- 作成しない
- 作成する (全項目)
- 作成する (対象項目を指定)

連携用テーブルの作成で「作成する (対象項目を指定)」を選択します。

入力パラメータ設定 クラスター備考

名前 現場名

種別 キーボードテキスト

帳票コピー時に 入力値をコピーしない。

連携用テーブル 連携用テーブルに出力

制約 必須入力

キーボード選択 標準キーボード

入力制限 None

禁止文字

最大文字数 0

文字埋め

埋め文字

文字列表示方法

- 折り返して全体を常に表示する
- 折り返しせず縮小して全体を表示する
- 行数を指定する

行数 1

横配置指定 Left

縦配置指定

書体指定 Arial

デフォルトにする

OK キャンセル

対象としたいクラスターの入力パラメーター画面上部にある「連携用テーブルに出力」設定にチェックを入れる事で、連携用テーブル作成の対象にすることができます。

また、編集画面上での右クリックメニューから、現在選択中のクラスターに関して、連携用テーブルの出力対象とるかどうかを一括して設定・変更する事もできます。

現場名	現場名	天気		確認者	
実施年月日	実施年月日	区分		確認者ライン	
開始時刻	開始時刻	時間			
問題箇所チェック				及び車両の鍵管理	喫煙場所指定
整理整頓	作業区域				
是正指示(写真などによる)					
是正指示1					

縦方向にコピー
横方向にコピー
グループID自動設定
グループID指定
帳票コピー時の設定
連携用テーブルの出力
時刻計算クラスター選択
コピー

連携用テーブルに出力する
連携用テーブルに出力しない

V4.2 V4.2強化版での新機能

作成した帳票の同時編集



作成した帳票を同時編集可能にする。

■作成した帳票を同時編集可能にする。

(同じ項目を同時編集した場合は後書き優先となります。)

しない

する

帳票の同時編集を可能にするかどうかの設定です。「する」に設定した場合、保存した帳票をタブレット上で再編集する際に帳票に対してロックを掛けなくなり、別ユーザーが同じ帳票を別タブレットで編集することが可能になります。

同時編集した帳票の保存

複数台のタブレットにて帳票の同時編集を行いサーバー保存した場合、編集が被らなかつた項目はそのまま有効となり問題無く保存されます。

編集が被った項目のみ後書き優先で上書き保存されます。

iPad-A



iPad-B



両方で編集されて被った項目は
後から保存した方を優先して上書き保存

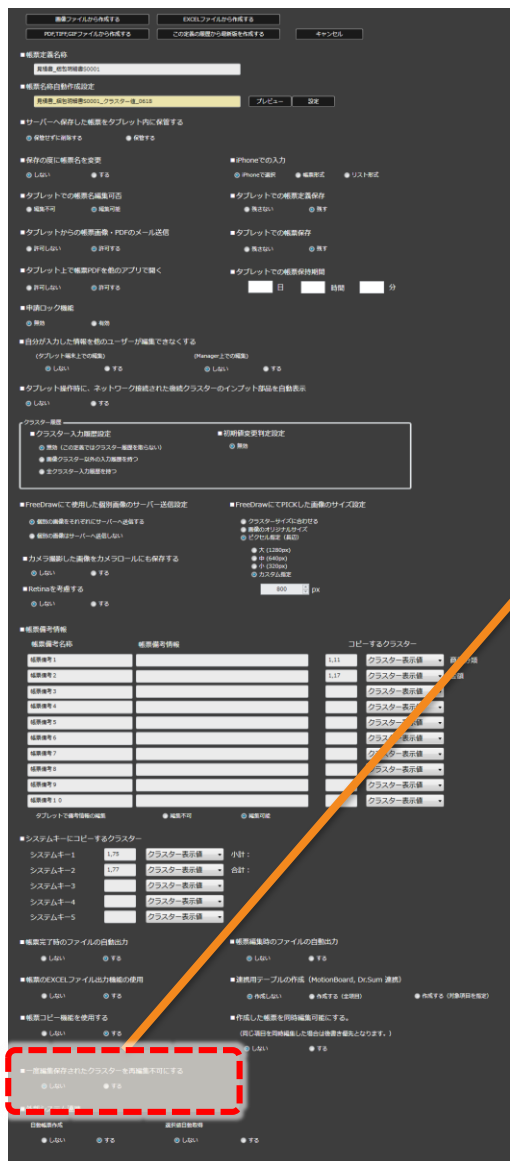
iPad-Aで編集した箇所

iPad-Bで編集した箇所

同一LO					
	日時	生産数量	検査	OK	
0123	2013/11/12	200	200	198	2 PCS
2740	2013/11/13	300	200	200	0 PCS
1002	2013/11/13	200	140	140	0 PCS
0980	2013/11/14	500	500	473	27 PCS
1863	2013/11/15	100	100	100	0 PCS
合計		1,300個	1,140個	1,111個	29 PCS

一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする

V5.0 V5.0強化版での新機能



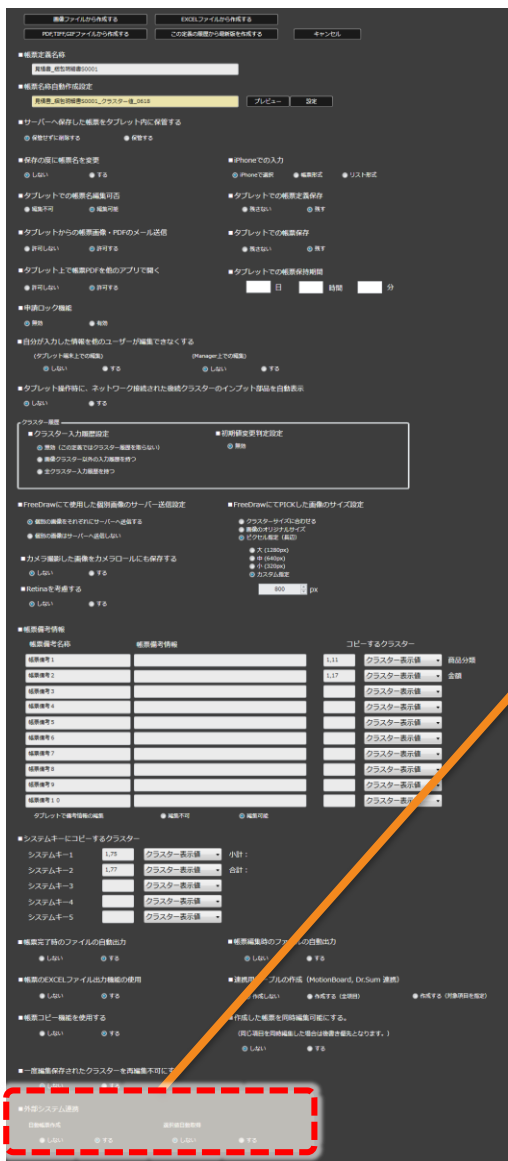
一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする

一度編集保存されたクラスターを再編集不可にする

しない する

帳票をサーバーへ編集保存した段階で、以後、記入済みのクラスターをタブレットで編集させないようにする設定です。

詳細は「一度編集保存されたクラスターは再編集できなくする機能」マニュアルをご参照下さい。



外部システム連携

■外部システム連携

自動帳票作成

しない

する

選択値自動取得

しない

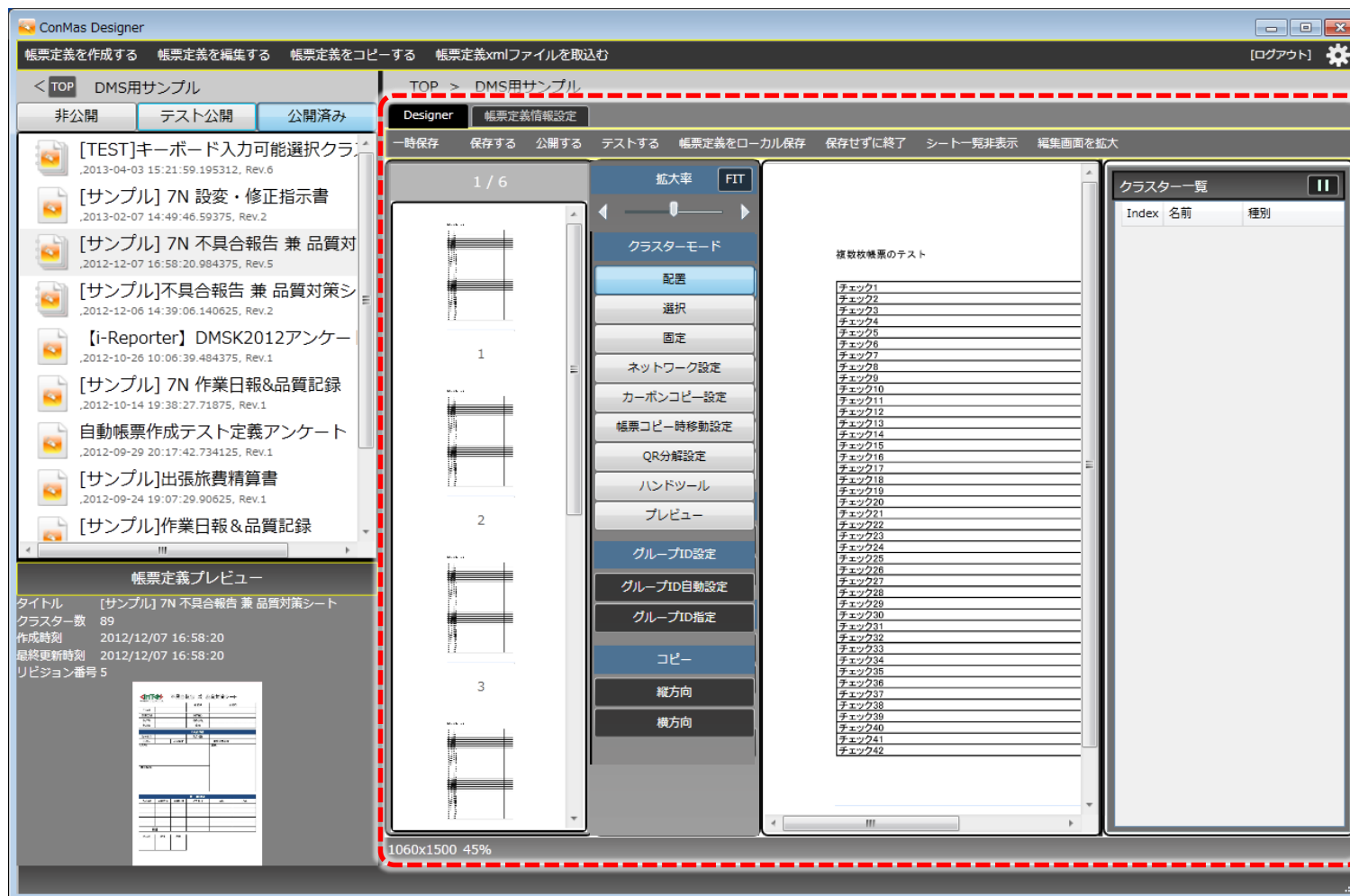
する

外部システムと連携させるかどうかの設定です。

- 自動帳票作成**
 オプションの外部連携APIを使って、外部システムから受け取ったデータを元に帳票をまとめて自動作成する機能を利用する場合は[する]を選択します。ConMas Manager上でCSV/XML取り込みによる一括作成をする場合にも[する]を選択します。
- 選択値自動取得**
 オプションの外部連携APIを使って、外部システムから単一選択、複数選択の選択値を更新する機能を利用する場合は[する]を選択します。

Designer編集画面への切替

- Designerタブをクリックすると帳票定義の編集画面が表示されます。
- この画面で各クラスターの配置や詳細の動作設定などを行います。



Designer編集画面のメインメニュー

一時保存 保存する 公開する テストする 帳票定義をローカル保存 保存せずに終了 シート一覧非表示 編集画面を拡大 EXCEL定義出力

- **一時保存**
ローカルに一時保存します。エラー等が発生した際などに一時保存していた状態から再開することができます。
- **保存する**
非公開でサーバーに保存します。
- **公開する**
公開でサーバーに保存します。iPadアプリで見ることができます。
- **テストする**
テスト用にサーバーに保存します。iPadアプリではテスト帳票の表示をする設定にしていれば見ることができます。
- **帳票定義をローカル保存**
帳票定義を x m l ファイルとしてローカルに保存します。
- **保存せずに終了**
編集内容を破棄して編集画面を閉じます。
- **シート一覧非表示**
シートのサムネイル一覧を隠します。
- **編集画面を拡大**
ウィンドウ枠や帳票定義リストを隠し、編集画面を最大化します。
- **EXCEL定義出力**
EXCELファイルから帳票定義を作成した場合のみ有効。帳票定義情報をEXCELファイルに戻して再び出力します。

帳票定義の一時保存

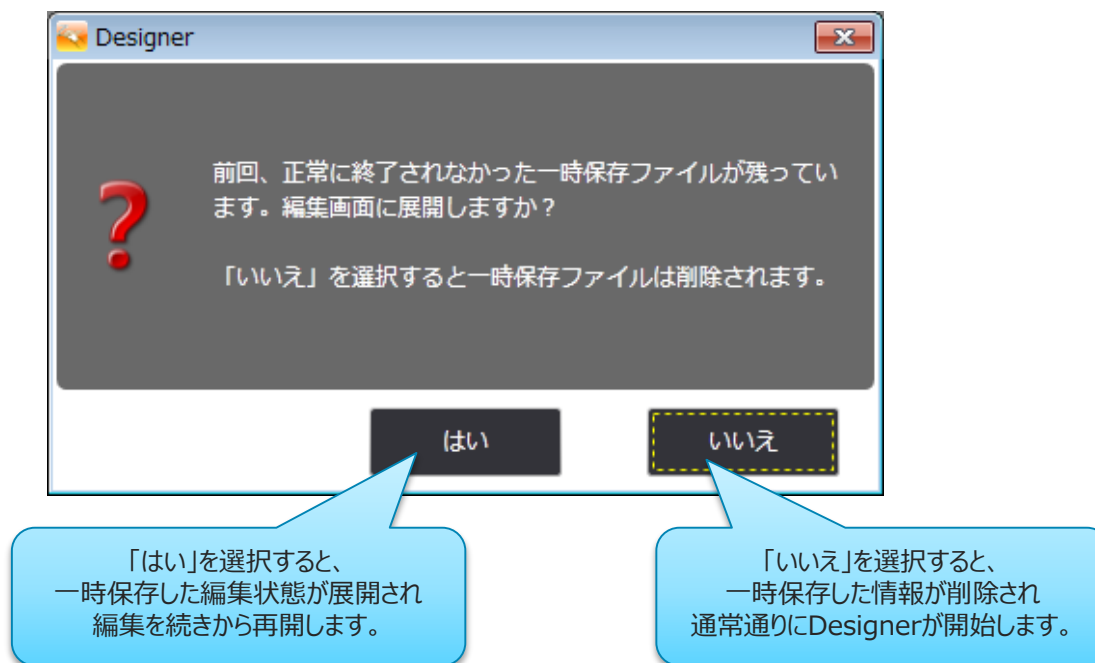
一時保存を実行しておく、何らかの原因によりDesignerがエラーとなり異常終了してした場合でも次回の起動、ログイン時に一時保存を最後に実行した編集状態から編集を再開することができます。

一時保存は、クラスターの入力パラメーター情報を保存したタイミングなど、定期的に内部で自動実行されていますが、これを手動で行いたい場合に使用します。

一時保存は実行しても編集画面は終了せずに編集を続行することができます。

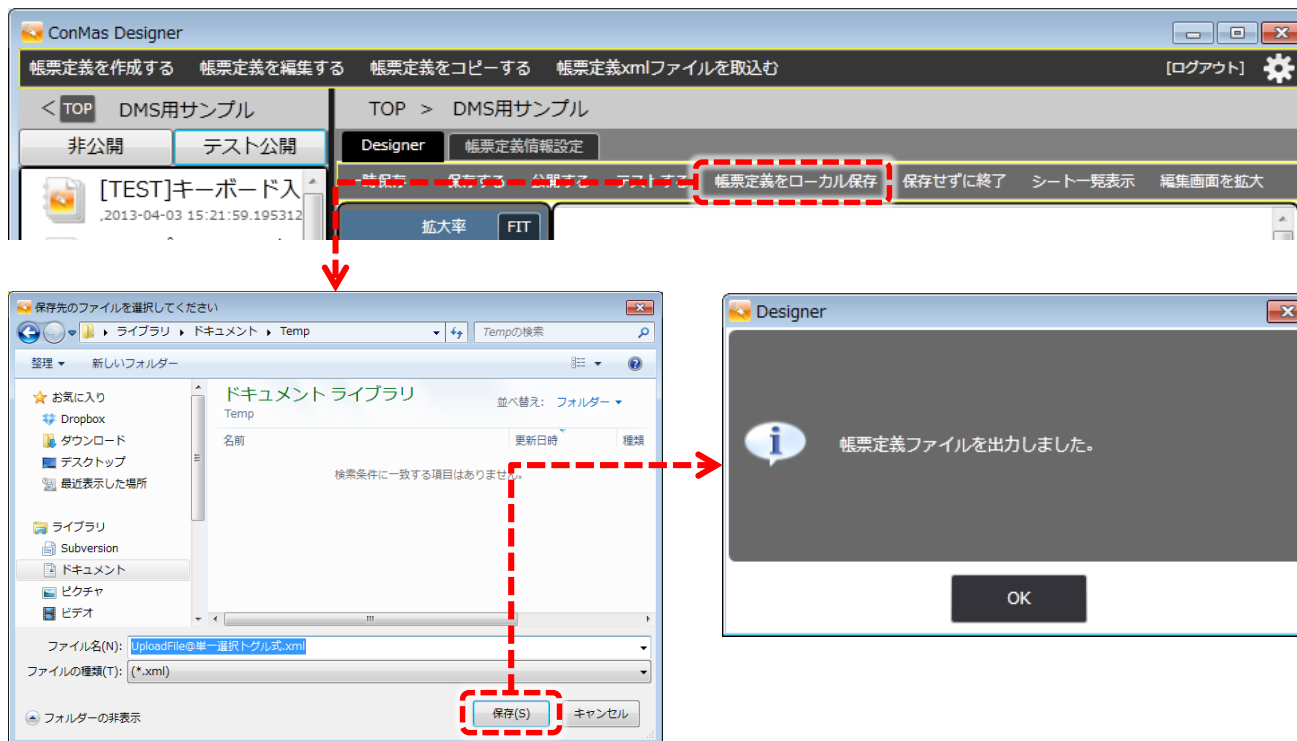
なお、Designerを正常終了したタイミングで一時保存した情報は都度削除されます。

Designerが異常終了した場合に次回ログイン時にメッセージが表示



帳票定義xmlファイルのローカル保存

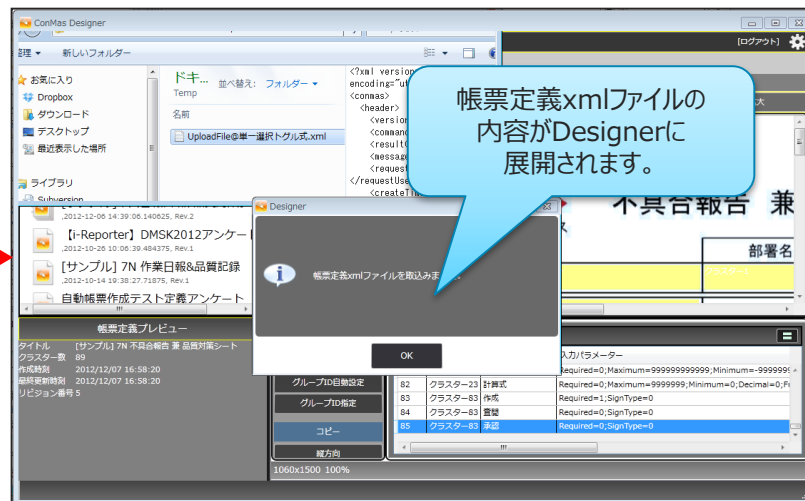
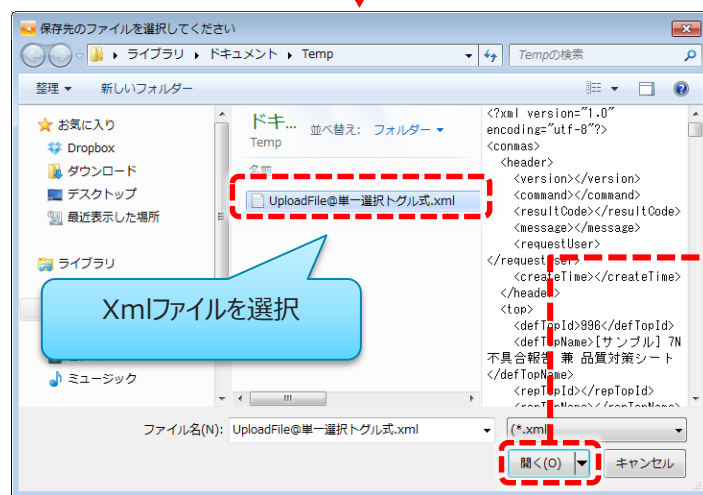
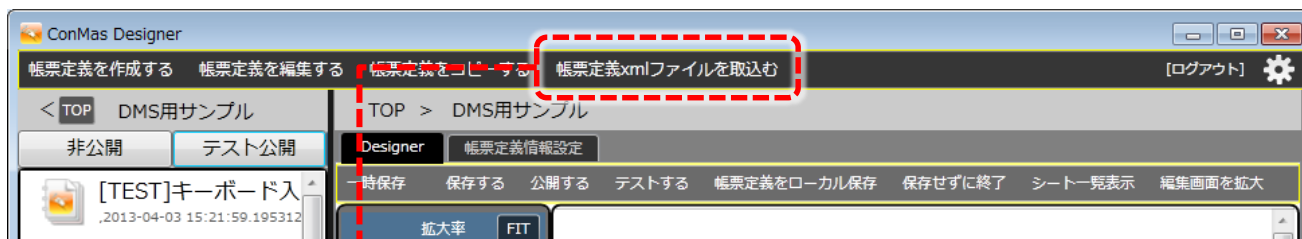
帳票定義情報をxmlファイルとしてローカル保存することができます。
編集画面メインメニューから「帳票定義をローカル」を実行するとダイアログが表示されますので
帳票定義xmlファイルの保存先を指定して[保存]をクリックします。xmlファイルの出力が成功すると
「帳票定義ファイルを出力しました。」というメッセージが表示され、編集画面が終了します。
ローカル保存のためサーバー接続の必要がありませんので、サーバー接続が不可に陥った場合などの
帳票定義の一時的な保存にご活用下さい。



帳票定義xmlファイルの取込

ローカル保存した帳票定義のxmlファイルはDesigner画面上部のメニュー「帳票定義xmlファイルを取込む」からDesignerへ取込むことができます。

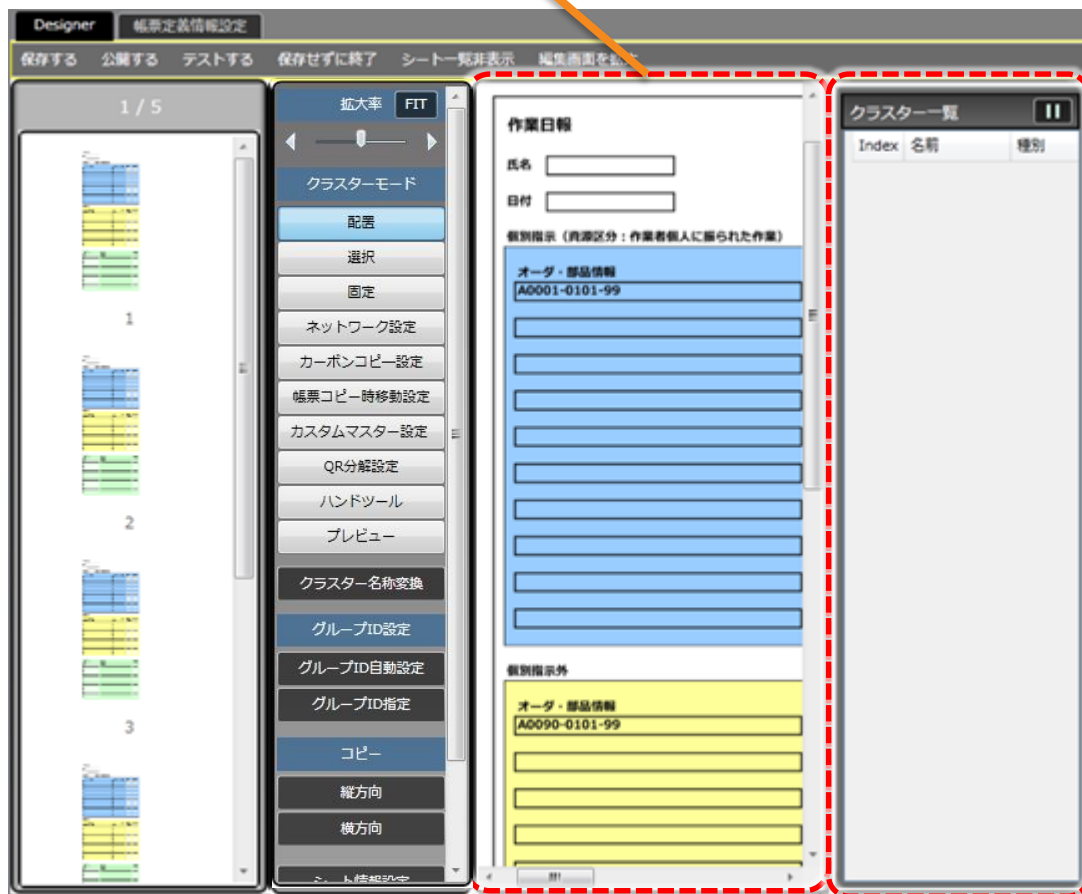
帳票定義を編集状態のままxmlファイルを取込むと、その帳票定義情報はそのxmlファイルの情報で上書きされます。



帳票編集エリア、クラスター一覧表示エリア

帳票編集エリア

クラスターの作成、選択、移動や、プレビューを表示します。



クラスター一覧表示エリア

クラスター一覧		
Index	名前	種別
0	作成日	キーボードテキスト
1	部署名	キーボードテキスト

シート内のクラスターを一覧表示します。右上のボタンで、帳票表示エリアの右側、もしくは下側に表示を切り替えられます。

シート一覧 プレビュー表示



シート一覧 プレビュー表示

- タイトル部分は、現在のページ/総ページ数を表示しています。
- サムネイルをダブルクリックすると、そのシートが編集状態になります。
- サムネイル上で右クリックメニューを表示して、シートの削除、挿入ができます。

シート一覧の操作については、「帳票定義のシート削除と挿入 (ConMasDesigner_InsertDeleteSheets.pdf)」をご確認ください。

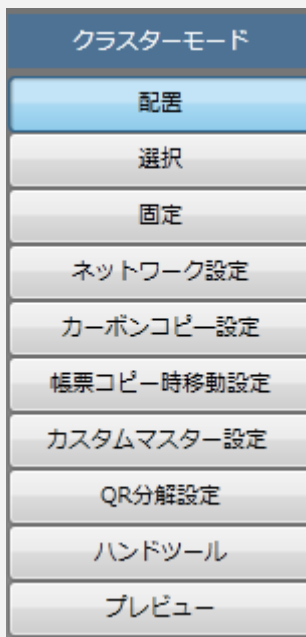
編集モードの設定



編集モードの設定



- 拡大率
スライダーで表示倍率を変更できます。
- FIT
背景の全体がおさまるように表示倍率を変更します。



- 配置
クラスターを作成、移動できます。
- 選択
クラスターを移動できます。
- 固定
クラスターを固定した状態で編集します。
- ネットワーク設定
ネットワークを作成、設定します。
- カーボンコピー設定
カーボンコピーを作成、設定します。
- 帳票コピー時移動設定
帳票をコピーする時のクラスター間の値の移動を設定します。
- カスタムマスター設定
カスタムマスターの親子関係の紐付けを設定します。
- QR分解設定
QRコードを他のクラスターに分解して入力する設定を行います。
- ハンドツール
背景の表示位置を移動できます。
- プレビュー
ダミーテキストで入力イメージを表示します。

 帳票コピー時の移動設定に関しては、「帳票コピー時のクラスター値移動設定」マニュアルをご確認ください。

 カスタムマスター設定に関しては、「カスタムマスター Designer設定」マニュアルをご確認ください。

 QR分解設定に関しては、「QRコード分解設定」マニュアルをご確認ください。

編集モードの設定



編集ツール

V4.1での新機能

クラスター名称変換

- クラスター名称変換
選択したクラスターの名称を一括して変換します。

グループID設定

- グループID自動設定
チェッククラスター、トグル選択クラスターのグループIDを自動採番して一括設定します。

グループID自動設定

- グループID指定
チェッククラスター、トグル選択クラスターのグループIDをユーザーが指定して一括設定します。

グループID指定

コピー

- 縦方向
選択中のクラスターを下方方向にコピーします。
- 横方向
選択中のクラスターを右方向にコピーします。

縦方向

横方向

シート情報設定

- シート情報設定
シート情報設定画面を開きます。シート名称やシート備考の編集、シート背景画像の入替えができます。

全シートコピー可

- 全シートコピー可/全シートコピー不可
シート単位で設定する「シートコピー可否」設定に関して、全シートを「シートコピー可」または「シートコピー不可」に一括して設定するボタンです。

全シートコピー不可

クラスター名称変換に関しては、「クラスター名称の一括変換」マニュアルをご確認ください。

シート情報の設定

シート単位の情報を設定、編集するための画面です。

シート定義名称です。
EXCELから取込みした場合は
EXCELのシート名称が自動で
設定されます。

シート単位で設定する備考です。

「シート情報設定」
ボタンをクリック

タブレット上でのシートコピー機能を
可能とするか不可とするか設定します。

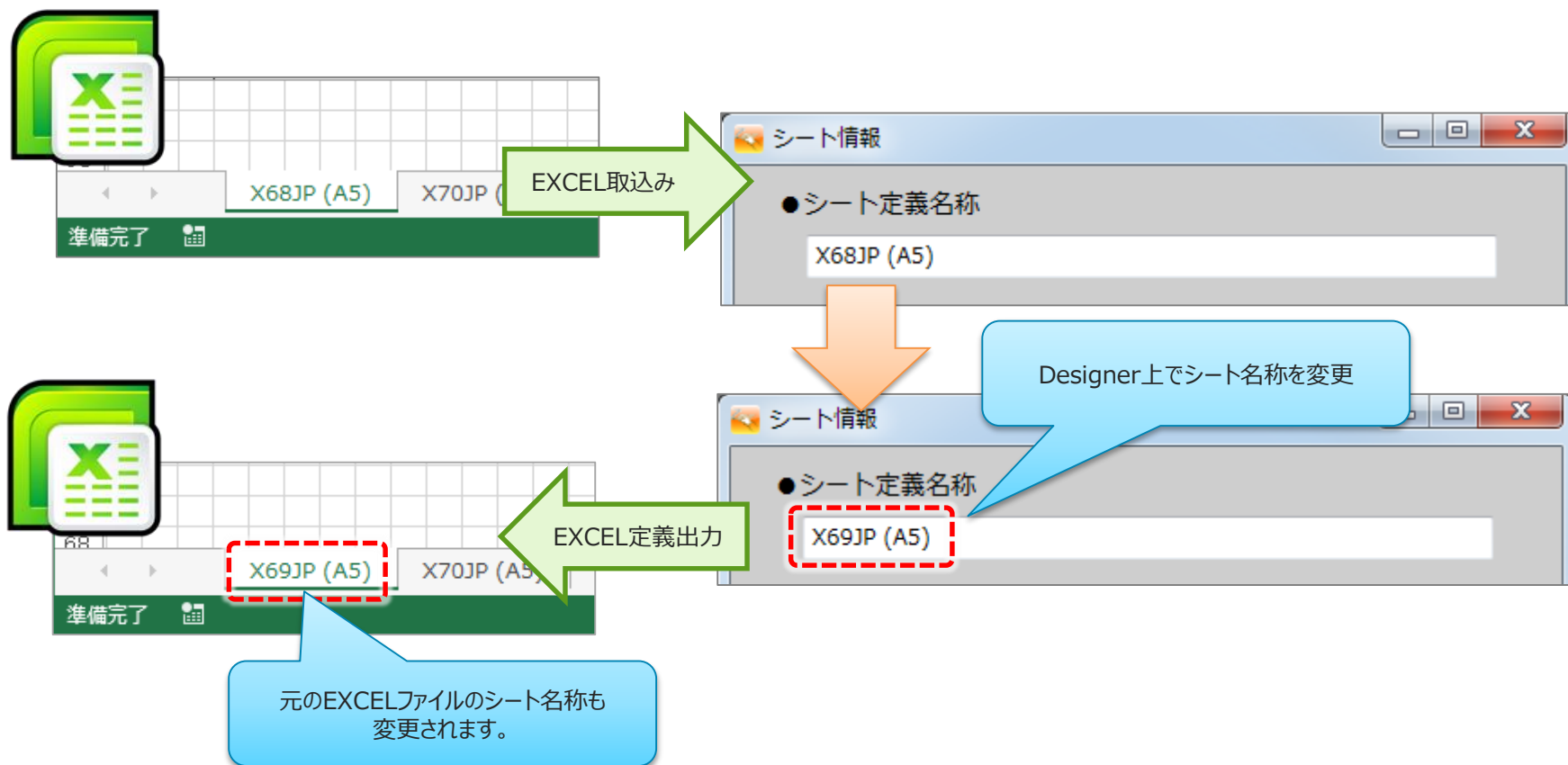
シートの背景画像を変更します。
EXCELから取込みした場合は
変更不可となります。

備考名称	備考情報
シート 備考1	
シート 備考2	
シート 備考3	
シート 備考4	
シート 備考5	
シート 備考6	
シート 備考7	
シート 備考8	
シート 備考9	
シート 備考10	

シート情報画面からEXCELファイルのシート名称変更

NEW
V4.2

EXCELファイルから帳票定義を作成した場合に関して、シート情報画面でシート定義名称を変更すると、帳票定義元となるEXCELファイルのシート名称も変更されます。EXCELファイルのシート名称を変更したい場合はこちらの画面から変更を行って下さい。



帳票定義をコピーする

既に作成されている帳票定義をコピーし、それを元に帳票定義を新規作成することができます。

The screenshot shows the ConMas Designer application window. The menu bar at the top contains the following options: 帳票定義を作成する, 帳票定義を編集する, 帳票定義をコピーする, and 帳票定義xmlファイルを取込む. The '帳票定義をコピーする' option is highlighted with a red dashed box. Below the menu bar, there are buttons for '公開' and '公開済み'. A list of report definitions is displayed, with the first item, '[sample]不具合報告&品質対策シート', highlighted with a red dashed box. Two blue callout boxes provide instructions: ① コピーしたい帳票定義を選択します。 and ② 「帳票定義をコピーする」を実行します。

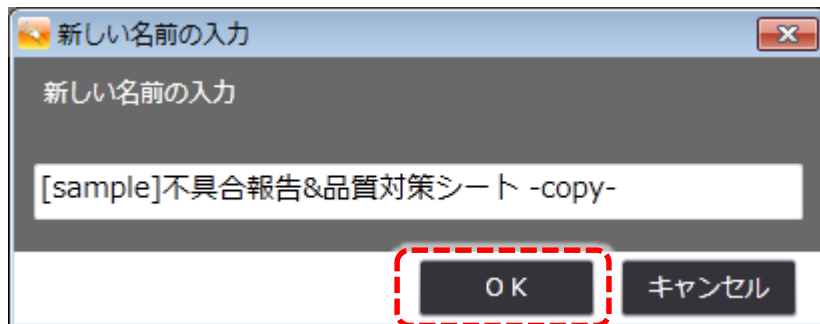
① コピーしたい帳票定義を選択します。

② 「帳票定義をコピーする」を実行します。

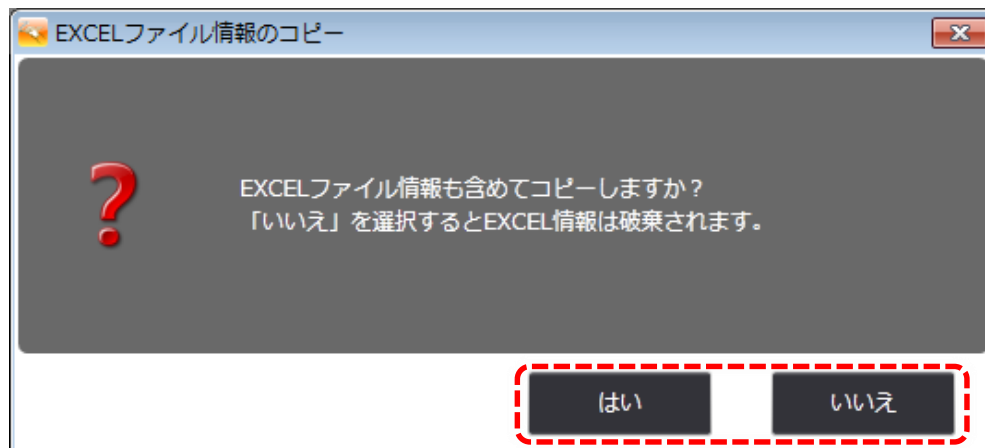
帳票定義名	最終更新日時	バージョン
[sample]不具合報告&品質対策シート	.2013-08-06 16:19:34.905375	Rev.4
歯科診療記録	.2013-05-31 09:40:25.5	Rev.1
家屋調査実施表	.2013-05-28 10:25:02.0625	Rev.7
[XML]不具合報告&品質対策シート	.2013-05-24 13:29:47.0625	Rev.1
リハビリテーション総合実施計画書 2P	.2013-04-11 20:09:43.417968	Rev.1
入院前状況調査	.2013-04-10 19:41:46.882812	Rev.2

▼ 帳票定義をコピーする

コピー後の新しい帳票名称を入力して[OK]ボタンをクリックします。



コピー元となる帳票定義がEXCELファイルから作成されていた場合に、帳票定義の持つEXCEL情報もコピーするかどうかの確認メッセージが表示されます。ここで、[はい]を選択するとEXCEL情報もコピーされ、[いいえ]を選択するとEXCEL情報はコピーされず破棄されます。



▼ 帳票定義をコピーする

コピーした帳票定義が編集画面に展開されますので、必要に応じて編集を行って頂き、「保存する」「公開する」「テストする」のいずれかで保存を行うことで、新規帳票定義として新たに保存されます。

④「保存する」「公開する」「テストする」のいずれかで保存を行います。

③コピーした帳票定義が編集画面に展開されます。

不具合内容					
発生日時	発注日	発生時刻	発見場所	発見場所	
LOT#	LOT#	加工時間	加工時間	不具合品数量	不具合品数値
<状況>					

Index	名前	種別	iPhone表示順	iPhone表示	入力パラメーター
0	クラスター-0	時刻	0	1	Required=0;AutoInput=2;FirstOnly=
1	作成日	年月日	1	1	Required=1;AutoInput=0;FirstOnly=
2	部署名	単一選択	2	1	Required=1;Default=0;Display=Label
3	作成者	単一選択	3	1	Required=0;Default=0;Display=Label
4	製造工場	単一選択	4	1	Required=1;Default=0;Display=Label
5	図面NO	キーボードテキスト	5	1	Required=1;Lines=1;InputRestrictio